

式辞

五十三名の新一年生の皆さん、御入学おめでとうございます。みなさんは、この奈良中学校にとくと七十六代目の新入生にあたります。二年生も三年生も、私たち職員も、皆さんの御入学を心から歓迎します。そして、このコロナ禍においてお招きすることは叶いませんでした。だが、地域の皆様も同じ気持ちであるはずひす。

入学する皆さんに、私からは、奈良中学校の学校教育目標についてお話しします。奈良中学校の学校教育目標には、

世界をいとせよ 奈良中生

という大きい言葉があります。「世界をいとせよ」は、奈良地区

出身の偉人、石坂養平先生の言葉です。奈良小中学校の校歌も石坂養平先生の作詞です。本校の校門には、学校教育目標と並んで、石坂先生直筆文字の看板があります。もう、見ましたか？見てはい人は、帰りに確認してください。さらに、知力・体力・それそれにも目標があります。この後、校歌紹介が予定されています。奈良中学校の校歌も、もちろん、石坂先生が作詞したものです。今日は、生徒の生の歌声を聴いてもらうことのできる貴重なCDも流します。よく聴いてください。校歌一番の歌い出しは、「愛情深き」です。二番には、「知性をみがき」それから「体を鍛え」という歌詞があります。これが、そのまゝ、学校教育目標になっています。奈良中学校の学校教育目標

世界をいとせよ 奈良中生

知性をみがく生徒
愛情深き生徒
体を鍛える生徒
これが、新入生の皆さんの体に、心、しみ込むといひなと
思っています。

保護者の皆様、本日は、誠に
おめでとうございます。大切な
お子様をお預かりし、三年間
かけて、子供たち一人一人の健
やかな成長のために、職員一同、
精一杯努力してまいります。

そのために、保護者の皆様と
私共職員が心を一つにして指
導に当たることを極めて大切で
あると考えております。本校の
教育活動に付しまして、御理解
御協力を賜りますよう、何卒
お願い申し上げます。

結びに、今年度の新入生の
皆さんにも、この言葉も贈らせて
ください。これからの三年間で
「学習・心・体」を成長させ、
「世界をいとせる奈良中生」

つまり、広い世界が、小さく思
えるほどに、人として大きく、
大きく、なすください。
以上も、令和四年度入学式、
式辞といたします。

令和四年四月八日
奈良市立奈良中学校長
中 村 祐